

新緑の吉野、歴史探訪

若葉の季節がやってきました。吉野山は桜で有名ですが、吉野山は桜だけではありません！

飛鳥時代にさかのぼって、吉野山は重要な土地でした。役行者、大海人皇子(天武天皇)、源義経と静御前、西行、後醍醐天皇、豊臣秀吉など名だたる歴史上の人物が吉野を訪れました。修行の場として、また、隠遁し再起を目指したところでもありました。

そんな吉野の歴史とともに探訪してみませんか？

皆さんにとって、吉野山は大変遠く、辺鄙な土地でもありますが、皆さん、奮ってご参加ください。

日時：2025年 5月 22日(木) 10:00～15:30

集合：10:00 吉野駅

(参考 8:20阿倍野橋発→9:00橿原神宮前発→9:52吉野着)

持物： 飲物、雨具、トレッキングポール(登山用杖)

お食事は蔵王堂周辺のお店でと考えています。お弁当の方は蔵王堂付近で。

雨天対応：前日17時の気象庁天気予報「奈良県北部」の午前又は午後の降水確率60%

以上で中止

中止の場合、前日事務局よりメールで連絡します。

ご案内：服部(リーダー・ガイド)、堀内けいこ(サブリーダー)でご案内します。

添付の地図は当日お渡しますので、プリントアウトの必要ありません。

行程：近鉄吉野駅  ~七曲り坂~銅の鳥居~金峯山寺仁王門~蔵王堂  (昼食)

~東南院~吉水神社~中千本駐車場  ~竹林院~桜本坊~喜蔵院~

勝手神社(ガイド終了)14:30ごろ~吉野駅まで

(近鉄吉野駅発 大阪阿部野橋行急行 15:38発・16:07発)

連絡先： 服部弘子 090-1141-3561 堀内けい子 090-5160-9916

吉野山の桜

吉野山の桜はほとんどシロヤマザクラでソメイヨシノはほとんどありません。50ha の桜林に約3万本の桜が植えられています。吉野山の桜は役行者が千日の修行後、祈りだした金剛藏王権現の姿を山桜に刻み山上・山下に安置したとの伝承から、桜はご神木として来山する信仰者から寄進され、現在の桜山となりました。桜寄進の最も大規模なものは天正7年(1574年)大阪平野の豪商末吉勘兵衛が1万本の苗木を下千本に寄進した記録が残っています。また、豊臣秀吉も文禄3年(1594年)、1万本寄進しています。現在では吉野山保勝会が中心となり、地域住民の協力のもと、下草刈り、追肥、ヤドリギの除去など桜の管理を行っています。しかし、高齢化、後継者不足で3万本の桜を維持管理していくのは容易ではありません。

今回は吉野の桜は見られませんが、魅力たっぷりの吉野山に御案内します。

